

記者発表資料

平成24年度 甲府河川国道事務所の事業概要

甲府河川国道事務所の平成24年度の事業費は約**182億円**。

主な事業内容については、以下のとおりです。

【河川事業】

- ・富士川町増穂地区の河川防災ステーションの盛土工事を継続します。
- ・身延町大野地区の築堤護岸(樋管)を継続します。
- ・富士川 **河川津波対策(小池川樋門)に着手し、今年度完成します。**
- ・富士市雁堤・木島地区の環境整備事業の工事を継続します。

【道路事業】

[改築事業]

- ・**中部横断自動車道(富沢～六郷)では、新たに楮根第4トンネルおよび、富士川を渡河する富士川橋に着手します。引き続き、全線に渡り工事等を実施します。**
- ・国道20号 **新山梨環状道路(北部区間)では、引き続き都市計画決定に向けた手続き等を実施します。**
- ・国道138号 **新屋拡幅事業に新規着手**します。

[交通安全事業]

- ・国道138号 **山中湖自転車歩行者道整備** 他4箇所の事業に**新規着手**します。

[電線共同溝事業]

- ・国道139号 **富士北麓(2)電線共同溝事業に新規着手**します。

発表記者クラブ

山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、神奈川建設記者会、竹芝記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所

地域広報官（副所長：河川）	高橋 忠臣（たかはし ただおみ）	055-252-5491
工務第一課長	柳澤 亘（やなぎさわ わたる）	055-252-8880
地域広報官（副所長：道路）	乙守 和人（おつもり かずと）	055-252-5491
工務第二課長	荒川 正秋（あらかわ まさあき）	055-252-8882

目次

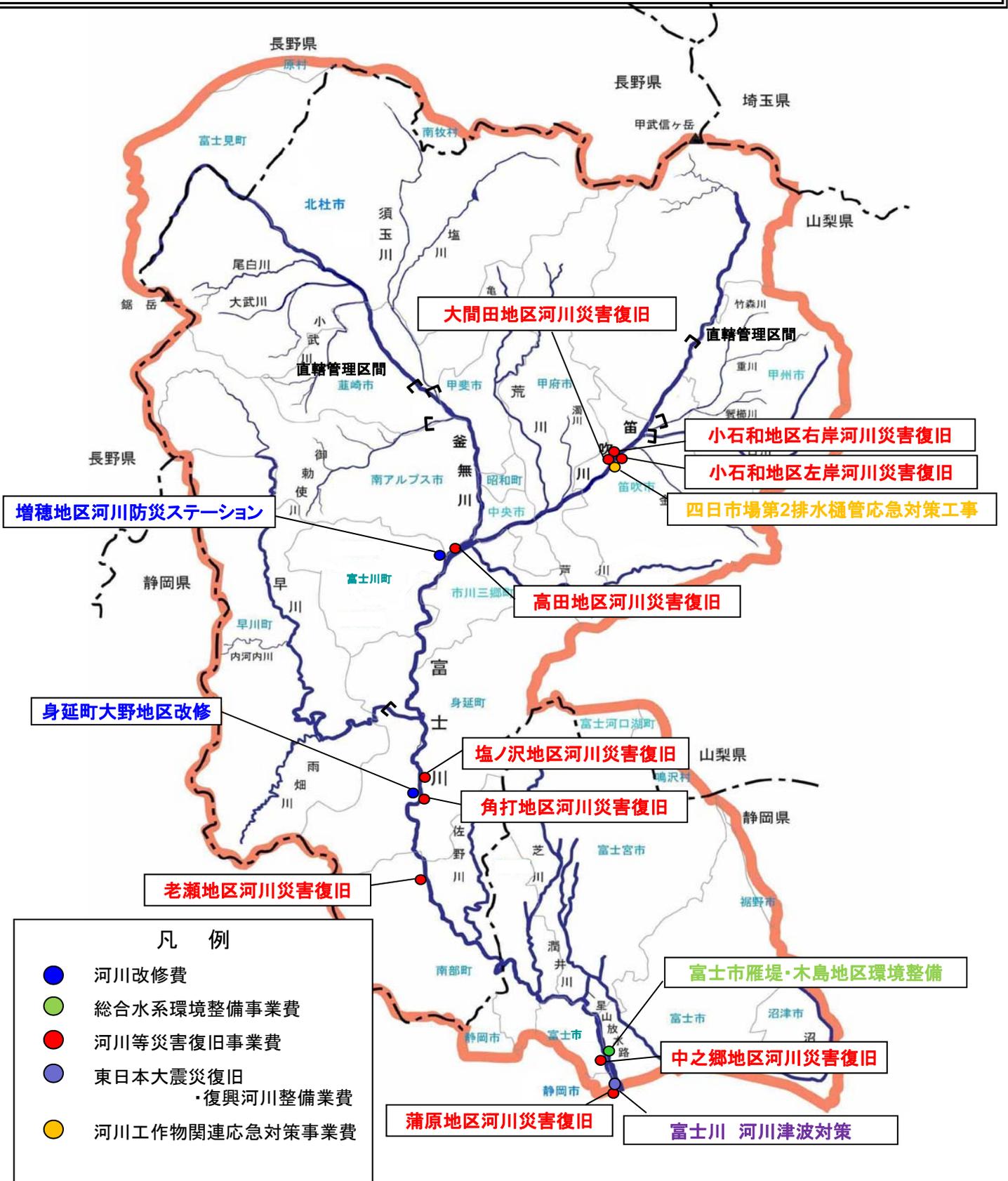
【河川事業】

管内図（河川）	3
事業費（河川）	4
増穂地区河川防災ステーション	5
身延町大野地区改修	6
富士川 河川津波対策	7
富士市雁堤・木島地区環境整備	8
河川災害復旧工事	9
河川工作物関連応急対策	10
維持管理	11
防災学習・環境学習の取り組み	12

【道路事業】

管内図（道路）	13
事業費（道路）	14
中部横断自動車道（富沢～六郷）	15
国道20号 新山梨環状道路（北部区間）	16
国道20号 大月バイパス	17
国道20号 竜王拡幅	18
国道52号 上石田改良	19
国道138号 新屋拡幅	20
国道139号 都留バイパス	21
国道138号 山中湖自転車歩行者道整備	22
国道139号 富士北麓(2)電線共同溝	23
維持管理	24

管内図(河川)



事業費(河川)

(単位:百万円)

事業名		事業費
河川改修費	増穂地区河川防災 ステーション 身延町大野地区改修	919
東日本大震災復旧 ・復興河川整備業費	富士川河川津波対策[新規]	89
総合水系環境整備事業費	富士市雁堤・木島地区 環境整備	119
河川工作物関連応急 対策事業費	四日市場第2排水樋管など [新規]	21
河川等災害復旧事業費	河川災害復旧9カ所	645
合計		1,793

※上記のほか河川維持費、河川管理施設更新費、業務取扱費等がある。

増穂地区河川防災ステーション

【事業の概要】

増穂地区河川防災ステーションは、富士川(甲府盆地内)において堤防の決壊等の重大災害が発生した場合に備えて、水防活動の拠点として整備を行うものです。当該箇所は、中部横断自動車道ICや国道52号に隣接する交通接点であるため、救援救助、地震時の復興支援としても活用できます。また、富士川町の「道の駅」とも連携して整備を進めます。

【全体計画】

事業箇所: 山梨県南巨摩郡富士川町大柵地先

事業内容: 盛土約18万m³、水防資機材整備1式

全体工期: 平成17年度～

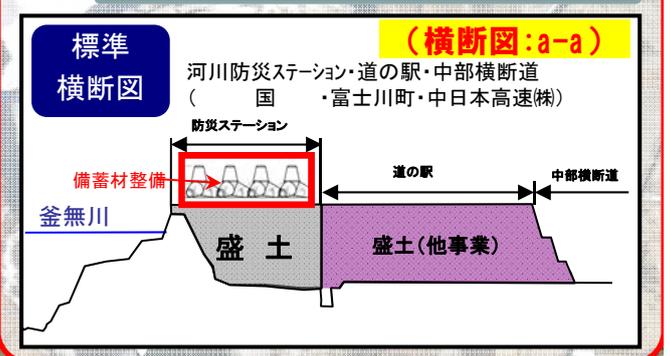
【平成24年度の予定】

水防備蓄材の整備を実施します。

○根固めブロック4,400個、割栗石等

【事業の効果】

効率的かつ迅速な災害対応が実施できます。



みのぶちょう おおの ちく
身延町大野地区改修

【事業の概要】

大野地区は、山間狭窄部で周辺の国道・県道が降雨に伴う雨量規制時には、陸の孤島となるため水防活動等が実施困難となります。同地区の堤防は、無堤区間(重要水防Aランク)になっている他、病院などの重要施設もあり、平成13年度から事業着手し、浸水被害解消のため築堤護岸及び排水樋管等の改修事業を実施しています。

【全体計画】

事業箇所: 山梨県南巨摩郡身延町大野地先

事業内容: 築堤護岸L=1, 140m、排水樋管1箇所、堤外水路

全体工期: 平成13年度～

【平成24年度の予定】

排水樋管及び堤外水路の整備を実施します。

○排水樋管1箇所、堤外水路

【事業の効果】

無堤防地区の築堤護岸及び樋管等を整備し、浸水被害の軽減を図ります。



富士川 河川津波対策

【事業の概要】

富士川河口部は東海地震の想定震源域に近く、津波が発生した場合、早期に到達すると予想されています。

このため、河口部に位置する「小池川樋門」については、耐震補強を行い、津波が市街地に浸入するのを防御します。

【全体計画】

事業箇所：静岡県静岡市清水区蒲原地先

事業内容：樋門耐震補強工事

全体工期：平成24年度

【平成24年度の予定】

樋門の耐震補強工事を実施予定です。(今年度完成予定)

【事業の効果】

樋門等の耐震補強を実施することにより、洪水や高潮だけではなく、地震・津波に対しても地域の安全を確保することができます。

東海地震の想定震源域と想定震度分布



富士市雁堤・木島地区環境整備

【事業の概要】

静岡県富士市雁堤・木島地区は、広大な礫河原が広がる自然豊かな河川景観となっています。「雁堤」は富士川を代表する歴史的治水施設であり、雁堤・木島地区では伝統行事の「かりがね祭り」や「投げ松明」が毎年行われるなど、地域住民に親しまれています。

富士市は、平成20年11月に富士川町・富士市が富士川を挟んで合併し、当該地区を「富士川ふれあいエリア」と位置づけ、雁堤の歴史・文化を学び、自然豊かな水辺利用を推進する予定です。

このことから、当該地区の水辺までアクセスする管理用通路や護岸の整備にあたっては、治水面に加え環境にも配慮した整備を行います。

【全体計画】

事業箇所：静岡県富士市松岡・木島地区

全体工期：平成22年度～

事業内容：管理用通路L＝約4,700m、親水護岸L＝約300m

【平成24年度の予定】

親水護岸を整備します。

○親水護岸L＝100m

【事業の効果】

富士川の水辺整備によって、水辺へのアクセスの向上をはじめとし富士市の「かわまちづくり」整備と相まって地域の活性化に寄与します。

雁堤・木島地区斜め写真



環境整備



親水護岸整備イメージ



管理用通路整備イメージ

かせん さいがいふつきゅう
河川災害復旧工事

【事業の概要】

平成23年9月台風15号の接近に伴う出水により、国が管理する富士川、釜無川、笛吹川の堤防、河岸が浸食される被災を受けました。

現状のままでは、今後の出水による堤防への影響が懸念されるため、被災箇所の復旧に努め、被災拡大をくい止めます。

【全体計画】

事業箇所：9箇所（富士川 5箇所、釜無川 1箇所、笛吹川 3箇所）

全体工期：平成23年度～

事業内容：災害復旧工事（護岸工事）

【平成24年度の予定】

- | | | |
|---|------------------------|-------------|
| ① | 静岡県静岡市清水区蒲原地先（富士川右岸） | 施工延長L=約590m |
| ② | 〃 富士市中之郷地先（富士川右岸） | 施工延長L=約 90m |
| ③ | 山梨県南巨摩郡南部町老瀬地先（富士川右岸） | 施工延長L=約 50m |
| ④ | 〃 南巨摩郡身延町角打地先（富士川左岸） | 施工延長L=約 60m |
| ⑤ | 〃 南巨摩郡身延町塩ノ沢地先（富士川左岸） | 施工延長L=約 70m |
| ⑥ | 〃 西八代郡市川三郷町高田地先（釜無川左岸） | 施工延長L=約250m |
| ⑦ | 〃 笛吹市八代町大間田地先（笛吹川右岸） | 施工延長L=約 60m |
| ⑧ | 〃 笛吹市石和町小石和地先（笛吹川左岸） | 施工延長L=約210m |
| ⑨ | 〃 笛吹市石和町小石和地先（笛吹川右岸） | 施工延長L=約180m |



↑蛇籠護岸の流出(身延町角打地先)

←堤防河岸の浸食(笛吹市小石和地先)

かせんこうさくぶつかんれんおうきゅうたいさく
河川工作物関連応急対策

【事業の概要】

河川管理施設について構造の不備により工作物周辺の治水機能が低下したものの改善措置や長期間の供用により老朽化が著しいものの改善措置を行います。

【平成24年度の予定】

平成24年度は、^{よっかいちば}四日市場第2排水^{ひかん}樋管の^{かんたい}函体補強工事および^{ようかいちば}八日市場第2排水^{ひかん}樋管・^{かみたかすな}上高砂排水^{ひかん}樋管の開閉機の更新設計を実施します。

^{よっかいちば}四日市場第2排水^{ひかん}樋管 函体補強工事 L=約17m

【事業の効果】

治水機能が低下した施設の機能の回復・向上を図ります。



いじかんり 維持管理

【事業の概要】

富士川は長野・山梨・静岡の3県にまたがる流域面積が3,990km²、幹線流路延長が128kmの一級河川でそのうち甲府河川国道事務所で管理する延長は、富士川及び釜無川、笛吹川等合わせて122.1kmです。

沿川住民が安心して生活でき、多くの人々から親しまれる河川とするために堤防、護岸、河川構造物等の河川管理施設の維持・管理や堤防除草、河川巡視や定期的な点検等を実施しています。

【平成24年度の予定】

○日常管理として

- ・ 堤防・護岸や排水機場等の河川管理施設の維持・管理
- ・ 堤防の状態を点検・把握するために堤防除草を実施します。
- ・ 川の機能が正常に保たれているか、また堤防や水門などに異常がないかなど、管内の河川巡視を実施します。

○洪水や地震が発生した場合は、堤防や護岸、樋門、排水機場などの状況を確認し、被災に対して迅速に対応します。



堤防点検



河川管理施設の点検

堤防除草



河川巡視



ぼうさいがくしゅう かんきゅうがくしゅう 防災学習・環境学習の取り組み

【概要】

甲府河川国道事務所では、防災学習や環境学習の一環として「出前講座」「住民参加の水質調査」を取り組んでいます。

【出前講座】

出前講座は、「国土交通省の事業の必要性やそれらに対する取り組み」「国民とのコミュニケーションを図る。」ことをなど目的に実施しているものです。

甲府河川国道事務所では、現在、行っている事業や防災・環境への取り組みについて、小中学校の総合学習や市民の生涯学習の場へお伺いし説明する出前講座を実施しています。

平成23年度は、小学生を中心に9団体、延べ290名の出前講座を実施しました。今年度も引き続き実施します。

【住民参加の水質調査】

富士川では、身近な川の水質や環境について理解頂くことを目的に、流域のみなさんから参加を募り、簡易水質測定用具を用いて水質を調べる「富士川一斉水質調査」や沿川の小中学校に協力して頂き、富士川に住んでいる水生生物を指標として水質の状況を確認する「水生生物による水質簡易調査」など住民参加型の調査を行っています。

平成23年度は、延べ約840名の参加により実施しました。今年度も引き続き実施します。

【平成23年度に実施した出前講座】

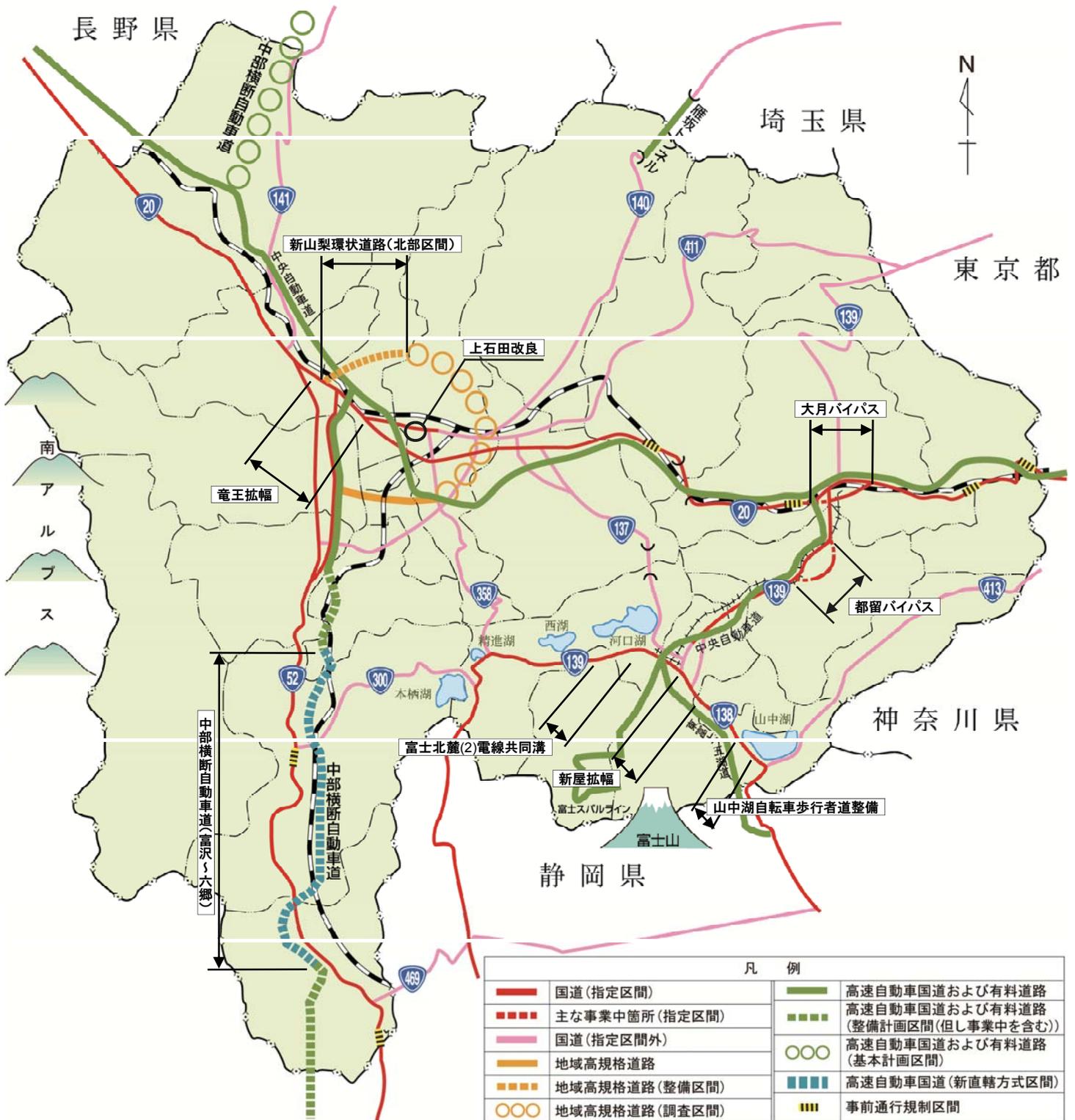


【平成23年度に実施した水生生物調査】



管内図(道路)

道路事業管内図



事業費(道路)

(単位:百万円)

事業名		事業費
改築事業		14,804
	中部横断自動車道(富沢～六郷)	13,500
	国道20号 新山梨環状道路(北部区間)	100
	国道20号 大月バイパス	140
	国道20号 竜王拡幅	314
	国道52号 上石田改良	600
	国道138号 新屋拡幅 【新規】	50
	国道139号 都留バイパス	100
交通安全事業	国道138号 山中湖自転車歩行者道整備(主たる事業箇所) 他10箇所	1,382
電線共同溝事業	国道139号 富士北麓(2)電線共同溝(主たる事業箇所) 他2箇所	239
合計		16,425

※上記のほか、維持管理費、調査費、業務取扱費等がある。

ちゅうぶ おうだん じどうしゃどう とみざわ ろくごう
中部横断自動車道(富沢～六郷)

H24年度事業費:135.0億円

【事業の概要】

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を經由し長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

山梨県区間の(仮称)富沢IC～(仮称)六郷ICの28.3kmについては、平成17年度より直轄事業として事業を進めています。

事業箇所:山梨県南巨摩郡南部町～西八代郡市川三郷町

延長:28.3km



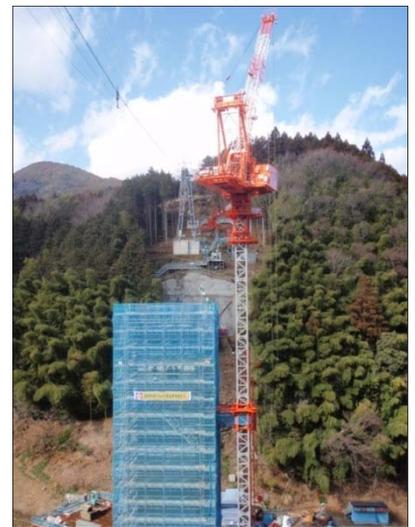
【平成24年度の予定】

平成24年度は、新たに楮根第4トンネル及び富士川を渡河する富士川橋に着手します。

引き続き、全線に渡り工事を実施するとともに、調査設計、用地交渉を行います。

【事業の効果】

中部横断自動車道が整備されることにより、新たに開通した新東名をはじめ、中央自動車道、上信越自動車道が接続され、日本海及び太平洋の臨海地域と長野・山梨県との連携・交流を促進するとともに、沿線の方々が安心して暮らせるネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光ゾーンの開発・支援等に寄与するものと期待されています。



南部町楮根地区(田中川橋(仮称)の施工状況)
[撮影:平成24年3月]



国道20号 大月バイパス

H24年度事業費: 1.4億円

【事業の概要】

国道20号大月バイパスは、大月市街地の交通混雑緩和や交通安全性向上を目的としたバイパス事業です。

平成22年度までに大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間の延長1.7kmが開通しています。

事業箇所: 山梨県大月市駒橋～大月市大月町花咲
延長: 3.2km



【平成24年度の予定】

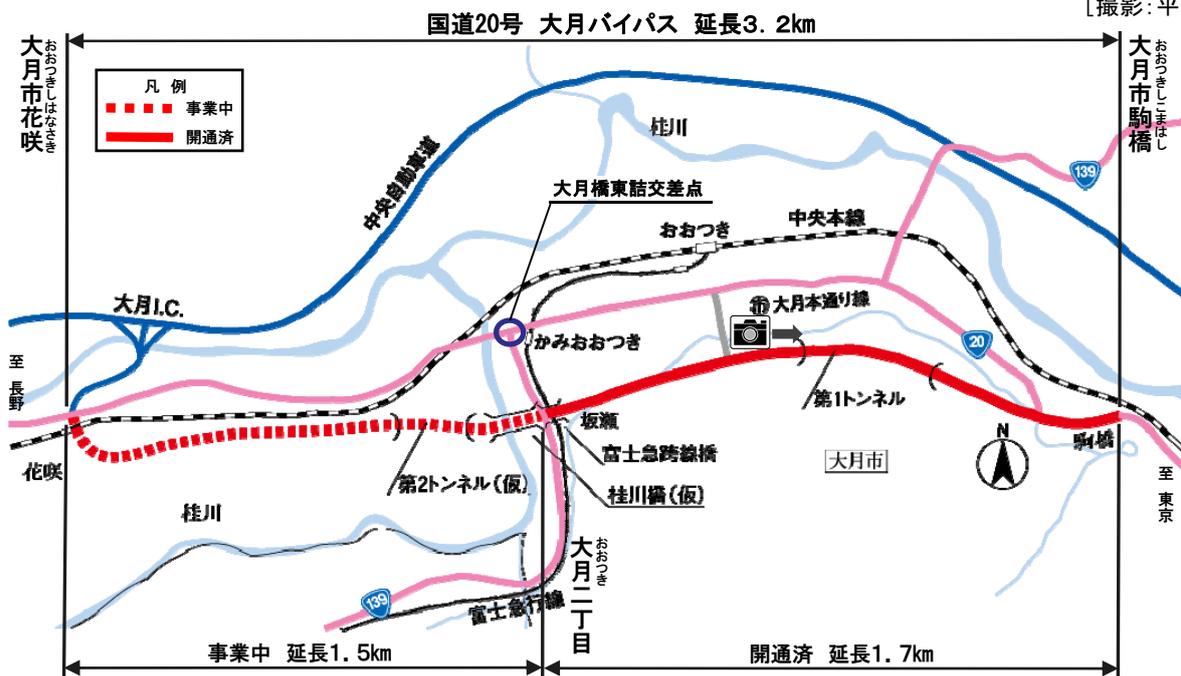
平成24年度は、桂川仮橋設置工事等、道路設計、用地交渉を実施します。

【事業の効果】

大月バイパスが完成することにより、大月市中心部を通過するだけの交通の排除などにより交通渋滞の緩和が図られます。また、すでに開通している大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間では、大月橋東詰交差点における渋滞緩和や現道の走行速度の向上、通学路などの裏道交通量の減少による安全性の向上などの効果が見られます。



開通済区間(東京方面を望む)
[撮影:平成24年5月]



国道20号 竜王拡幅

H24年度事業費:3.14億円

【事業の概要】

国道20号竜王拡幅は、甲斐市～韮崎市にかけての交通混雑緩和や交通安全性向上を目的とした道路拡幅事業です。

平成22年度までに甲斐市竜王地先の延長1.7km、甲斐市下今井～韮崎市栄一丁目間の延長3.3kmが開通しています。

事業箇所:山梨県甲斐市竜王～韮崎市栄一丁目

延長:6.7km



【平成24年度の予定】

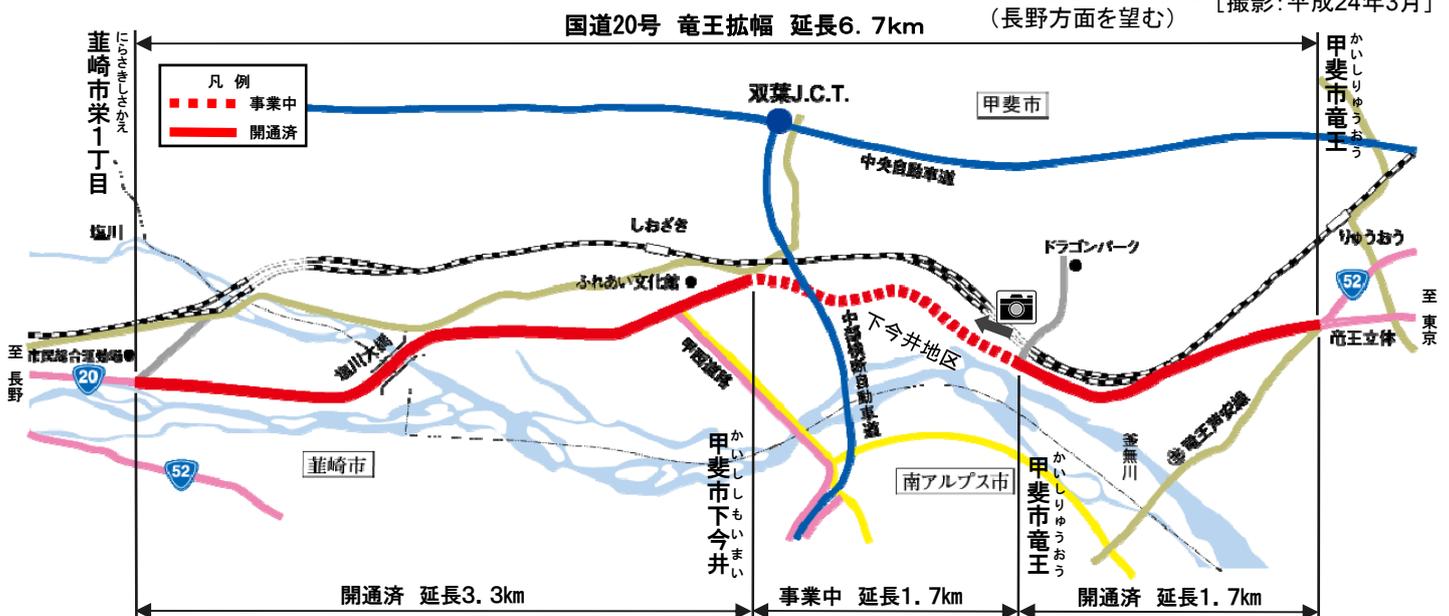
平成24年度は、下今井地区において舗装工事等を実施します。

【事業の効果】

竜王拡幅が完成することにより、車線数増加による国道20号の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や歩道整備による交通安全の確保が見込まれます。



下今井地区の工事状況 [撮影:平成24年3月]
(長野方面を望む)



国道52号 上石田改良

H24年度事業費: 6.0億円

【事業の概要】

国道52号上石田改良は、甲府市街地の交通混雑緩和や道路線形の改良等による交通安全性向上を目的とした、道路拡幅事業です。

事業箇所: 山梨県甲府市富竹一丁目～山梨県甲府市寿町

延長: 1.0km



【平成24年度の予定】

【区間①】

○甲府市富竹一丁目～甲府市上石田一丁目(延長0.25km)

平成24年度は用地交渉に着手し、引き続き道路設計を実施します。

【区間②】

○甲府市上石田一丁目～甲府市寿町(延長0.75km)

昨年度に引き続き、荒川橋梁下部工事、舗装工事等を実施します。

【事業の効果】

上石田改良が完成することにより、線形の悪い箇所の改善や右折レーンの設置、歩道設置等による交通安全の確保や慢性的な交通渋滞の緩和が見込まれます。



荒川橋(仮称)の施工状況
[撮影: 平成24年3月]



【新規事業化】

あらやかくふく
国道138号 新屋拡幅

H24年度事業費:0.5億円

【事業の概要】

国道138号^{あらやかくふく}新屋^{ふじよしだ}拡幅は、富士吉田市内の2車線区間における交通渋滞の緩和や交通安全の確保を目的とした道路拡幅事業です。

事業箇所:山梨県富士吉田市上吉田七丁目^{ふじよしだ}～上吉田堰林^{かみよしだ}

延長:2.6km



【平成24年度の予定】

平成24年度に新規事業化。
本年度は、道路設計を実施します。

【事業の効果】

あらやかくふく
新屋^{あらやかくふく}拡幅が完成することにより、国道138号新屋^{あらやかくふく}拡幅区間における慢性的な交通渋滞の緩和や、歩道整備による交通安全の確保が図られるとともに、災害時の避難路としての機能も確保されます。



① 至 御殿場市
至 富士河口湖町
上宿交差点付近の交通状況
[撮影:平成23年8月]



② 至 富士河口湖町
至 御殿場市
富士見バイパス南交差点付近の交通状況
[撮影:平成23年8月]



国道139号 都留バイパス

H24年度事業費: 1.0億円

【事業の概要】

国道139号都留バイパスは、都留市内の幅員狭小区間やクランク箇所^{つる}の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的としたバイパス事業です。

平成22年度までに、(主)都留道志線^{つる どうし}から(県)四日市場上野原線^{よっかいちば うえのはら}までの延長5.6kmが開通しています。

事業箇所: 山梨県都留市十日市場^{つる とうかいちば}～都留市田野倉^{つる たのくら}

延長: 8.0km



【平成24年度の予定】

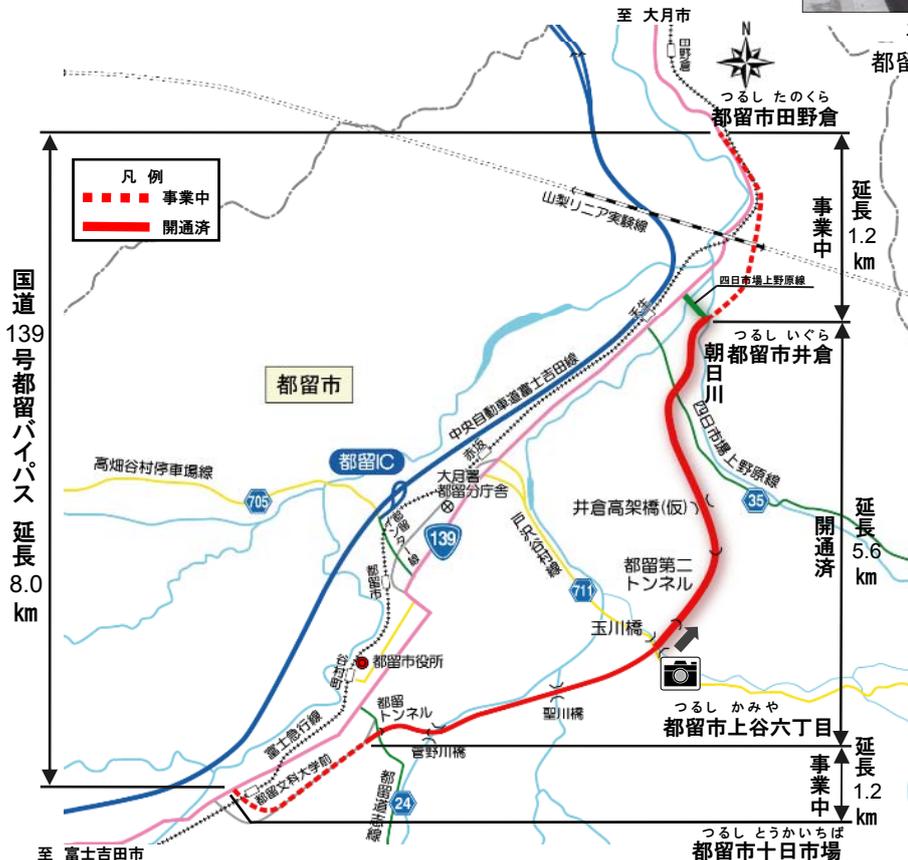
平成24年度は、道路設計等を実施します。

【事業の効果】

都留バイパスが完成することにより、現道の狭小区間の交通渋滞の緩和を図り、歩道未整備区間の通行安全性の向上が見込まれます。



平成23年3月27日開通区間
都留第二トンネル(大月方面を望む)
[撮影:平成23年3月]



【新規事業化】

やまなかこ じてんしゃほこうしゃどう せいび
国道138号 山中湖自転車歩行者道整備

H24年度事業費:0.21億円

【事業の概要】

国道138号の山中湖畔沿道には、観光施設や飲食店、駐車場が整備され、観光シーズンには多くの観光客が訪れます。昭和48年より山梨県による山中湖湖岸約14kmを一周する大規模自転車道(サイクリングロード)が計画・整備されてきましたが、当該区間は未整備であるため、歩行者・自転車利用者の安全が確保されていない状況となっています。本事業は、歩行者・自転車利用者の安全確保のため、自転車歩行者道の整備を行います。

事業箇所:山梨県南都留郡山中湖村

延長:2.0km

【平成24年度の予定】

平成24年度に新規事業化。本年度は調査設計を実施します。

【事業の効果】

当該箇所は、自転車歩行者道が整備されることにより、自動車との走行空間が分離され、走行安全性の向上が見込まれます。



山中湖付近の交通状況 [撮影:平成24年5月]



【その他の交通安全事業】

新規事業	箇所名	平成24年度の予定
	国道 20号 上野原歩道整備	調査設計、歩道設置工事を実施します。
	国道 20号 船山橋北詰交差点改良	調査設計、交差点改良工事を実施し、今年度完了の予定です。
○	国道 52号 飯野新町交差点改良	調査設計を実施します。
	国道 52号 名取交差点改良	調査設計、用地交渉、交差点改良工事を実施し、今年度完了の予定です。
○	国道139号 精進湖入口交差点改良	調査設計を実施します。
	国道139号 天神山交差点改良	調査設計、用地交渉、交差点改良及び歩道設置工事を実施します。
○	国道139号 一本木交差点改良	調査設計、用地交渉を実施します。
	国道139号 船津登山道入口交差点改良	横断歩道橋設置工事を実施し、今年度完了の予定です。
	国道139号 上暮地歩道整備	調査設計、用地交渉、歩道設置工事を実施します。
○	国道139号 都留文大入口交差点改良	調査設計、用地交渉を実施します。

【新規事業化】

国道139号 富士北麓(2)電線共同溝

H24年度事業費:0.1億円

【事業の概要】

一般国道139号富士北麓電線(2)共同溝は、富士山を観光資源として推進するための活動エリア(富士山風景街道)となっており、山梨県の無電柱化事業と連携することにより、富士北麓地域の観光振興を図り、安全で快適な通行空間の確保を図るものである。

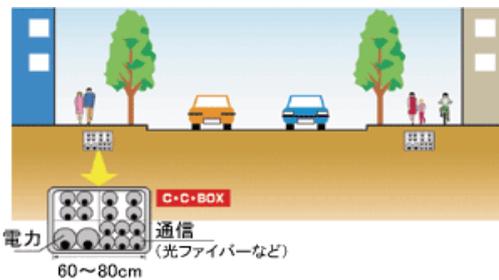
事業箇所:山梨県南都留郡鳴沢村前原～南都留郡富士河口湖町船津
延長:7.06km(道路延長3.54km)

【平成24年度の予定】

平成24年度に新規事業化。本年度は、工事実施に向けた調査設計を実施します。



【電線共同溝の整備イメージ】



【国道139号鳴沢村の沿道状況】



[撮影:平成24年3月]

【その他の電線共同溝事業】

箇所名	平成24年度の予定
国道 52号 上石田電線共同溝	調査設計および電線共同溝工事を実施します。
国道139号 富士北麓電線共同溝	調査設計及び電線共同溝工事を実施します。

維持管理

【事業の概要】

山梨県内の一般国道は12路線、総延長約669kmあり、甲府河川国道事務所では、このうち一般国道20号、52号、138号、139号の4路線、延長約258kmを管理しております。

- ①連携・交流の促進、活力ある地域づくりの支援
- ②よりよい生活環境の確保
- ③安心して住める県土の実現

上記を3本柱として、幹線道路網の整備、事故・渋滞対策、防災・耐震対策、環境整備(バリアフリー化、騒音・振動対策等)を実施します。

また道路を良好な状態に保全し、安全で円滑な通行を確保するため、道路管理、積雪寒冷地対策等の事業を実施します。

【平成24年度の予定】

○日常管理

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保ち、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保するために、「道路巡回」、「道路清掃」、「除草」、「樹木の剪定」、「除雪」などの各作業を実施します。



道路巡回



除雪作業



道路清掃作業



- 耐震補強
- 橋梁補修
- 防災対策

国道20号 ^{はやて}疾風橋耐震補強(^{ふえふき}笛吹市～^{こうふ}甲府市) 他1箇所
国道20号 ^{よこお}横尾橋補修(^{おおつき}大月市) 他16箇所
国道52号 ^{まんざわ}万沢防災(^{みなみこま}南巨摩郡^{なんぶちょう}南部町) 他3箇所